

誇りと感謝を胸に、新成人が誕生

南あわじ市成人式を開催



▲舞台上でお礼を述べる成人式実行委員の皆さん

新成人を祝おうと南あわじ市成人式が一月七日、文化体育館で行われ、五百五十三人の新成人が参加しました。式典では、中田市長が「一人ひとりの行動が変われば世界が変わります。「夢、知恵、パワー」を持ち続けて頑張ってください」とお祝いの言葉を述べました。これを受け、新成人を代表して木下稔基さんから「南あわじ市で生まれ育ったことへの誇りと、両親や地域の方への感謝の気持ち



▲成人になった喜びや決意を語る「二十歳の主張」

を持って、成人として力の限り頑張ります」と決意を述べました。続いて、新成人で組織する実行委員会が企画したアトラクションが行われました。

楽天の片山投手が母校に寄贈

野球用屋根付ベンチ

南あわじ市出身でプロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルス所属の片山博視投手から、母校の三原中学校に野球用の屋根付きベンチの寄贈を受けました。

一月十五日に母校を訪ねた片山投手へ辻川一之校長から感謝状が贈呈され、同部員からも応援メッセージが手渡されました。片山投手からは「淡路島からでもプロに行ける。あきらめないで、何事にもしつかり頑張ってください」と後輩たちを激励。地元からの応援にも「試合に勝つことで、皆さんに感謝の気持ちを表したい」と意気込みを語ってくれました。



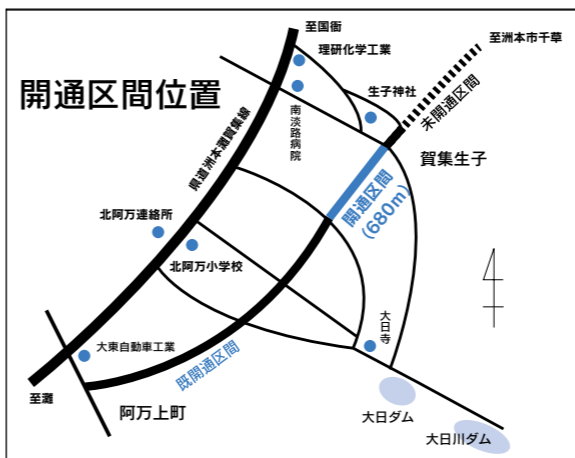
▲寄贈を受けた屋根付ベンチと片山投手

「二十歳の主張」では、社会人として働く新成人から、社会の厳しさや感謝されることの喜び、また一人暮らしで勉強に励む学生からは両親や友人への感謝の気持ちなどが発表されました。また地元の若者らで作る阿波踊りグループ「孩子」が見事な踊りを披露し、式典に華を添えました。同実行委員会は昨年四月か

ら、のべ十回にわたる企画会議を実施。昨年度の実行委員との引継ぎを兼ねた交流会や記念植樹、前夜祭イベントで団結を深め、この日に臨みました。当日、ボランティアスタッフとして、昨年度の実行委員や来年以降に成人を迎える若者も応援に駆けつけ、駐車場や会場の整理などを務めました。

オニオンロード 一部開通

南淡路広域農道（通称「オニオンロード」）で、このほど賀集福井の680mの区間が開通しました。これにより阿万上町から賀集生子までの区間が通行可能になりました。



オニオンロードは洲本市千草から南あわじ市阿万までの約19・6kmの農道です。農業機械の大型化による農産物の集出荷の効率化を図るため平成6年に着工、現在約8・4kmの区間が通行可能となっています。平成23年度全線開通を目指しています。

開通区間位置
至園衛 理研化学工業 至洲本市千草
至園衛 生子神社 賀集生子
至園衛 南淡路農道 未開通区間
北阿万連絡所 北阿万小学校 大日ダム
大東自動車工業 阿万上町 大日川ダム

子どもの居場所づくり事業が終了

3年間でのべ二百教室開催



▲里山の基地作り

平成十六年度から開催されてきた「子どもの居場所づくり」事業が今年度末で終了を迎え、一月十三日には三原公民館で十八年度の修了式が行われました。

修了式では、子どもの居場所づくり推進協議会の小林昇会長のあいさつ、塚本圭右教育長の祝辞に続き、自然科学、不思議発見、料理の達人の各コースを修了した子どもたち七十六人に小林会長から修了証書が授与されました。料理の達人コースを修了し



▲バレンタインディチョコレイト作り

た中尾麻結さん（松帆）が「みんなと協力して作ったことは、とても楽しかった。今まで教えてくれたことを生かしていろいろなことに挑戦したい」とお礼を述べました。なお十九年度からは「放課後子ども教室」として生まれ変わり、開催されます。



▲カブトムシの採集に出かける子どもたち

子どもの居場所づくり事業
文部科学省委嘱事業として、小学生を対象にして放課後や祝祭日などに安全に安心して遊ぶことができる場として公民館などで活動を展開。地域の人々の協力により、スポーツや文化などさまざまな体験活動を通し、子どもたちの自主性を育んできました。

◆子どもたちの活動を支えたみなさん（敬称略）
コーデイネイター 岡鼻あかね、鴻原治子、大浜宏美、スタッフ 馬部節子、原祐加、石川智子、北野有規、小林照代、大谷由香、久次米祐里子、森本雄介、前川昂祐、登美穂



▲アウトドアクッキング（パン焼き）



▲たまねぎなどを使って草木染。アイロンをあてると出来上がり



▲フラワーアレンジメントでお正月とクリスマスの飾りづくり



▲書道教室



▲赤く実の熟したヤマモモの採取